

重点プロジェクト

《地域が主体となった地域づくり》

地域コミュニティ活性化プロジェクト

コミュニティセンターを核とした『地域経営』を推進し、地域課題の解決に向けた仕組みづくりを進めます。地区計画の実現を図るための支援や地域づくりのための環境整備を進めます。

○地区コミュニティセンターの支援	8,745万円
□「すまいる！四季の郷」定住促進	360万円
☆若者定住サポート事業	580万円
☆地域おこし協力隊の導入	595万円
○空き家対策（空き家バンク等）	18万円
□高齢者福祉、介護予防等	3億1,580万円

《山林資源を生かし、循環型社会を目指す》

森林・林業再生プロジェクト

荒廃が進む山林は、豪雨災害の被害拡大の一要因です。境界の明確化により財産としての意識を高めるとともに、地域産材の利用を視野に公共施設の木造化木質化を推進し、循環モデルの確立をめざします。

□豪雨災害復旧・復興(再掲)	
□森林・林業再生協議会	23万円
□森林境界明確化事業	84万円
☆森林経営計画策定	228万円
☆バイオマスエネルギー設備導入支援	150万円
☆(仮)まちづくり複合施設整備事業(再掲)	

《地域の資源を見つめ直し、活力溢れる》

産業競争力強化プロジェクト

住民生活の基盤となる産業は、強い農業づくりやものづくりの振興を進め、受注・販路拡大を支援します。また、地域資源を活用した特産品開発などの6次産業化や観光交流の拡大を推進します。

□農業経営体育成支援	1,000万円
☆強い農業づくり、米価下落対策	1,560万円
○新規就農者、担い手支援	1,056万円
□産業振興専門家派遣	1,500万円
□農工商観連携6次産業化推進	637万円
☆「日本の紅(あか)をつくる町」推進	513万円

《まちづくりは人づくり》

白鷹人育成推進プロジェクト

白鷹町の将来を担う人材を育成するため、白鷹人育成基金事業を活用し、若者育成や国際感覚の養成を図ります。また、高等学校や専修学校の支援や教育環境の向上を推進します。基盤となる町立図書館や町民武道館を整備します。

☆青少年国際交流（短期留学）	340万円
□学校生活支援員の配置	1,720万円
□発達障がい理解推進拠点事業	121万円
○スクールバスの拡充運行	6,210万円
○荒砥高校、専修学校支援	1,285万円
□(仮)町民武道館等整備	4億3,803万円
☆共同調理場民間委託	3,000万円
☆学校、社会教育施設改修調査	384万円

— 地方創生に向けた取り組みも併せてスタート —

町では第5次総合計画後期基本計画をベースに、「白鷹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」「白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に向けた取り組みをスタートします。また、今年度は地方創生先行型として次の事業を実施します。

まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標

(まち・ひと・しごと創生本部)

1. 地方における安定した雇用を創出する
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

◇総合戦略策定事業	850万円
◇観光4シーズン化推進事業	850万円
◇地区コミュニティセンター事業	600万円
◇ふるさと移住応援プログラム	622万円
◇白鷹サテライトオフィス事業	400万円

◇森林再生・木材コーディネーター設置事業	216万円
◇スポーツドリーム事業	200万円
◇婚活サポート事業	156万円
◇地域農業活性化センター推進事業	155万円
◇公園安全機能向上助成	100万円